

Shalom-network

発行 NPO法人シャローム事務局 〒960-1241 福島県福島市松川町字東原17-3
TEL/FAX024-567-5322
http://nposhalom.net/ info@nposhalom.net 発行責任者 大竹静子

総会が終わり年内事業が本格始動！

5月29日の総会も終了し、年内に行われる事業が本格的に動き始まっています。その主な概要を紹介していきます。今から予定に入れて置いて頂ければと思います。

七月
7月18日(日)
7月19日(月・祝日)

7月18日
第79回教養講座

「地元学を考える」

講演

「彫刻家保住将文氏が語る『メキシコと日本』

比較文化論」

13時30分～15時

まちなか夢工房2F

オアシス広場

7月19日

石彫ワークショップ

「『蒼龍伝説』を彫る」

10時～15時

(予約申込要)

ふくしまスカイパーク

講師・保住 将文氏

(メキシコ国 チャパス

州立芸術科学大学准教授)

参加費 各日五百円

参加費 各日五百円

(資料代・材料費)

メキシコ在住の彫刻家保住将文氏が、「蒼龍伝説」を彫るために帰ってきます。スカイパークのシンボルモニュメントとして製作が始まり4年目を向かえます。19日のお昼には、メキシコ料理や焼きそばも準備されますので楽しみにして頂きたいと思えます。

八月
8月21日(土)
8月27日(金)

生誕百周年記念

マザー・テレサ映画祭

マザー・テレサ生誕百

周年を記念し、映画祭が

全国で開催されています。

福島においては、マザー・

テレサの誕生日8月26日

をはさみ開催されます。

シャロームの会員でもあ

る千葉茂樹監督の最新作

「マザー・テレサと生き

る」も公開されます。

公開作品

すばらしいことを神様のため

(BBC放送制作)

マザー・テレサの祈り 生命それは愛 (監督・千葉茂樹)

マザー・テレサの遺言

(監督・マーセル・ハウアー)

マザー・テレサと生きる

(監督・千葉茂樹) 本邦初公開

マザー・テレサとその世界

(監督・千葉茂樹)

母なることの由来

(製作・監督アン・ペトリ、

母なる人の言葉

ジャネット・ペトリ)

(製作・監督アン・ペトリ、

母なる人の言葉

ジャネット・ペトリ)

福島フォーラムにおいて、

連日入替制により上映されます。

前売券：一回券九百円

二回券千六百元

時間等詳細はチラシ等

が準備されていますので

「まちなか夢工房」まで

ご連絡ください。

8月21日：第80回教養

講座「地元学を考える」

マザー・テレサ映画祭

上映記念講演

講師・千葉茂樹氏

会場：福島フォーラム

13時

講演のみは入場無料

愛のメモ帳

マザー・テレサがこの世に生まれて百年、これを記念して「生誕百年マザー・テレサ映画祭」が福島市で開催される。1997年にこの世を去り、13年が過ぎた今も、その魂は生き続ける。マザー・テレサの映像が世界から集められ、8月の21日から27日までの一週間の中で7本が上映される。生前の姿が蘇る。「愛の反対は憎しみではなく無関心です。人は無関心になると感情が消え、顔から表情が消えていく。自分とは住む世界が違うできごとだ」と思うと無関心になる。自分とは違う「障がい者」という人たちがいると思うと無関心になれる。人は、一人一人能力が違い、性格も違う。個人差はあるが「障がい者」という集団は見当たらぬ。お互いに関心を持ち、不足を補い合いながら共に生きていく。そんな当たり前の生き方を実践することが評価される、現代こそ異常なかもしれない。今、改めてマザー・テレサを通して、みんな「愛」の意味を考えたいものである。(T.O)

一面より

九月
9月4日(土)～5日(日)

未来館フェスティバル2010
会場：福島県男女共生センター
「女と男の未来館」

シャロームよりの参加企画を
含め、県民参加企画により行わ
れます。市民活動を知る良い機
会になると思います。

生命の尊さを描いた「こちらは
タマゴ」という千葉茂樹監督製
作のアニメ映画がメイン企画と
して決まっています。

十月

10月27日

まちなか夢工房7周年記念
感謝祭

十一月

11月6日

共に生きる仲間たちの
コンサート

コンサート

これ以外にも他団体との協力
参加事業がたくさん予定されて
おります。詳細については会報
やチラシ、ホームページで随時
お知らせしていきます。みなさ
んでお誘い合のうえ参加して
頂き、楽しいイベントにしてい
きたいと思えます。シャローム

第79回「地元学を考える」のご案内

1日目・講演

「彫刻家・保住将文氏が語る

『メキシコと日本』比較文化論」

期日 22年7月18日(日)

時間 13:30～15:00

場所 まちなか夢工房2階
オアシス広場にて

2日目・石彫ワークショップ

『蒼龍伝説』を彫る

期日 22年7月19日(月・祝)

時間 10:00～15:00

場所 ふくしまスカイパーク

屋外での活動をしやすい服装でご参加ください。

講師 保住将文氏
(メキシコ・チャパス州立芸術大学准教授)
参加費：各日 ¥500(資料代・材料費)

1日目の講演には定員はございません。事前申込なしでもご参加いただけます。

2日目：ワークショップ・定員20名)事前申込必要



第78回地元学を考える

『嘘と笑い』の効用について

講師 清水修二氏

6月26日の第78回地
元学は、講師に清水修
二氏(福島大学副学長)

を招き、「『嘘と笑い』
の効用について」とい
う題で講演をしていた

だきました。清水氏の
専門は財政学や地域論

などでいらつしゃいま
すが笑いにも造詣が深
くていらつしゃいます。

今回の地元学は時折笑
いが漏れるような講演
となりました。

清水氏は笑いの分類
を15に分けて、それ
ぞれについて具体的

な例をあげて説明を
されました。笑いに
ついて、僕は分類な

ど考えた事もなかつ
たので新鮮な気持ち
で講義を受けました。

講義を受けるうち、
自分が面白いと感じ
る笑いがどういった

ものなのかを知るこ
と

とができた事も興味深
く思いました。

最近笑う機会もあま
りなく、楽しく毎日を
過ごすということもあ

まりありませんが、今
回たびたび笑いながら
楽しく講義を聴くこと

ができました。清水氏
は「人は笑っている時
が一番幸せだ」とおつ

しゃっていました。少
し幸せになれた地元学
でした。(文責 玉川)





6月13日、福島大学にてオーストラリア学会シンポジウムのパネルディスカッションに参加してきました。ご存知のとおり、シャロームでは福島県でシネリテラシーの実践を行っており、その活動について報告しました。

オーストラリアではすでに学校教育に取り入れられておりますが現在、福島ではまだただ教育の現場で本格的

2010年度オーストラリア学会全国大会
1312日(土) 桜の聖母短期大学
日(日) 福島大学

に映像を取り入れた教育は行われておりません。

福島では、当法人シャロームで映画制作ワークショップを2回、プラネタリウム番組制作ワークショップを1回行いました。昨年は福島型シネリテラシーの実践報告の本も作りました。また、東京大学大学院の言語学部に2009、2010と2回出展し、シネリテラシーの実践報告をしております。

シャロームでは、中学生や高校生というように参加者を限定せずにその地域に住む人なら誰でも参加できるという形をとっております。

また、ローカルで活躍するテレビタレントやミュージシャンなどメディア露出の多いタ



レントにも協力してもらっております。そういった色々な人たちを巻き込みながら映画を作ることに地域活性化にも貢献していくことを目的としております。

子ども達の教育のみならず地域に住む人々にもシネリテラシーは大変効果のあるものであると感じております。福島大学のオーストラリア学会シンポジウム

において、こういった実践報告ができたことは、シネリテラシーの普及に貢献できると思います。

今年も残念ながら映画ワークショップという形で映画づくりはできませんが、今後こういった報告の場をより

ガーデンパーティーに
あだち共労育成園

6月5日、あだち共労育成園さんで毎年行われているガーデンパーティーに参加しました。シャロームでは毎年当行事に参加させていた

だいておりますが、私は初めての参加で、同じく初参加のUPセンタースタッフの高野さんと2人で伺いました。

パン、焼き菓子等を10ばんじゅう持っていったのですが、パンを広げ始めるとすぐにみなさん来てくださり、おかげさまでパンは全て完売！ありがとうございました。完売の後「もうパンないの？」と来てくださる方がた

多くし、シネリテラシーの普及に努めていきたいと思えます。結果として共に生きるまち、より良い地域づくりに貢献できればと思っております。今後ともご協力お願いいたします。

(文責 佐藤 憲吉)

毎年恒例、お中元セール
『む...これはうまい』 (おせんべい) 24包48枚入1000円、36包72枚入1500円
をシャローム会員限定で **10%オフ** で販売中。
日頃お世話になっている方への、感謝のしるしにお中元。
シャロームの会員である傷がいを持つ仲間のやさしい詩が表面に焼きこまれているおせんべいです。
箱詰め、包装等ご相談ください。 まちなか夢工房 024-524-2230

～夢工房より～

皆様、いかがお過ごしでしょうか、まちなか夢工房では、職場体験や見学の受け入れが増え、毎日たくさんの学生さんで賑わっています。今回は、見学の感想をいただきましたのでご紹介します。福島県立盲学校の生徒2名からいただきました。

まちなか夢工房様 さとうかずき
東北地方も梅雨入りしましたがいかがお過ごしでしょうか。先日はお忙しい中、私たちに工房内を見学させていただきありがとうございました。私たちは障がいを持っているので、どんな仕事にもつけないと思っておりましたが、見学をさせていただき障がいのあるなしに関係なく皆さま生き生きと働いておりました。その姿を見て、障がいから逃げずに進んで行かなければならないと感じました。今回、シャロームという団体について説明をしていただきました。お話をお聞きして、障がいを持つ方のために様々な取り組みをされており機会があればまた見学をさせていただきたいと思いました。本当にありがとうございました。

以上、とても心温まる、嬉しいお手紙でした

活動報告5月31日～

- 5月31～18日 福島市立養護学校職場体験 1名
- 6月5日 あだたらガーデンパーティ参加 2名
- 6月7日もちずりワークでのひまわりの種まき参加 7名
- 6月10日 県立盲学校職場見学 4名
- 6月12・13日 オーストラリア学会全国大会へ
シネリテラシーの実践参加 延14名
- 6月15日 門前市 2名
- 6月22日 福祉研究会 7名
- 6月26日 第78回地元学「嘘と笑いの効用について」
福島大学副学長 清水修二氏 30名
- 7月2日 未来館フェスティバル会議 1名
- 7月8日 福島市男女共生のつどい実行委員会 2名

活動予定7月15日～

- 7月14日 福祉研究会
- 7月15日 門前市
- 7月18日 第78回地元学
「メキシコと日本 彫刻その比較文化論」
メキシコ国チャパス州立大学准教授 保住将文氏
- 7月19日 石彫りワークショップ体験「蒼龍伝説を彫る」
福島市農道空港スカイパーク内 指導 保住将文氏
- 7月24日 第3回未来館フェスティバル会議
- 8月8日 大波地区ひまわり祭
- 8月11日 福祉研究会
- 8月21日 第80回地元学 千葉茂樹氏
～27日 マザー・テレサ映画祭

編集後記 真夏。子供たちの夏休みも近い。今年は何回海に行けるだろうか。毎年、気付くとお盆が来て、盛夏は過ぎ去っていたというパターンが多く、気付くとお盆。この子たちの今年の夏は来年は無い。今年できることを精一杯やってやりたい。(M.S)

生誕100周年記念 マザー・テレサ 映画祭 開催

マザー・テレサ生誕100周年記念として、福島フォーラムにて映画祭が開催されます。シャロームでは、当法人の会員であり、日本人として初めて彼女の撮影を許された千葉茂樹監督を映画祭の初日にお招きし、第80回教養講座「地元学を考える」の記念講演としてお話を頂戴いたします。また、今回は千葉茂樹監督の初公開作品「マザー・テレサと生きる」が上映されます。映画祭も一週間開催いたしますので、是非この機会に会員の皆様も、マザー・テレサの世界に触れていただければと思います。

日時：2010年8月21日(土)～8月27日(金)

会場：フォーラム福島

上映作品

- A) マザー・テレサと生きる
- B) 生命それは愛/マザー・テレサとその世界
- C) 母なる事のなる事の由来
- D) マザー・テレサの遺言
- E) 母なるひとの言葉

上映予定：

- 21日(土) 13:00～
第80回 教養講座「地元学を考える」
1. 千葉茂樹監督 記念講演
2. 特別上映
「すばらしいことを神さまのために」
本邦初公開！～入場無料
14:30～A) 「マザー・テレサと生きる」
 - 22日(日) 10:30～
A) 「マザー・テレサと生きる」入替
B) 「生命それは愛」・
B) 「マザー・テレサとその世界」(2本立て)
 - 23日(月) 10:30～
A) 「マザー・テレサと生きる」入替
C) 「母なることの由来」
 - 24日(火) 10:30～
A) 「マザー・テレサと生きる」入替
D) 「マザー・テレサの遺言」
19:00～D) 「マザー・テレサの遺言」
 - 25日(水) 10:30～
A) 「マザー・テレサと生きる」入替
B) 「生命それは愛」・
B) 「マザー・テレサとその世界」(2本立て)
19:00～B) 「マザー・テレサとその世界」
 - 26日(木) 10:30～
A) 「マザー・テレサと生きる」 入替
C) 「母なることの由来」
19:00～
C) 「母なることの由来」
 - 27日(金) 10:30～
A) 「マザー・テレサと生きる」 入替
E) 「母なるひとの言葉」
19:00～E) 「母なるひとの言葉」
- 料金：前売券 1回券900円 2回券1600円
当日券 一般1200円
学生・シニア・障がい者1000円